



令和5年12月3日、兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパス(兵教ホール)にて「2023年度教育コミュニケーションコース修士論文中間発表会」が開催されました。

M1の学生にとっては、初めての中間発表、M2、M3にとってはその年の集大成となる発表会でした。また今回はオンラインも併用し、多くの人が思い思いの形で参加されました。

発表題目

授業場面における教師と子どもの「ナナメの関係」の考察
—ワロンの表象概念を手がかりにして—

授業における論理的思考力の育成方法の研究 —中学国語における発問の工夫に着目して—

日本語学校における外国人留学生のソーシャル・キャピタルに関する研究
—多文化共生社会に向けた日本語教育の役割と教育効果に着目して—

市民性教育をめぐる課題について —「世間論」を軸に—

社会貢献活動に参加する子どもの意識変容に関する研究
—傍観者から当事者へのパースペクティブ変容に着目して—

小学校教職員集団内の関係性とメンタルヘルスの関連について

看護教育における授業の方略に関する研究
—主体的・対話的で深い学びを目指した実践から臨地実習への展開を手掛かりに—

道徳教育における死の語り方に関する研究
—アルフォンス・デーケン「死への準備教育」を手がかりにして—

動機づけ研究に基づいた第二言語習得を目指した高校英語に関する授業開発

清末民初留日学生と新式学堂1の発展 —江浙地方を例に—

教師間の「わざ」の伝え合いに関する考察 —省察的实践家としての専門職像を手がかりに—

看護職を目指す学生の学習過程 —他者の皮膚に入る看護師になるために—

水族館と学校の連携に関する研究 —学校側からみる問題解決への具体的アプローチ—